

群馬県立県民健康科学大学

Gunma Prefectural Graduate School of Health Sciences
2016

大学院

PURSUIT



大学院のプロフィール

看護学研究科 看護学専攻(修士課程)

入学定員	修業年限	学 位
8名	2年※	修士(看護学)

※最長4年まで長期履修可

医療機関などで院内教育や管理に携わる
実践的指導者となる人材を育成

診療放射線学研究科 診療放射線学専攻(修士課程)

入学定員	修業年限	学 位
3名	2年※	修士(放射線学)

※最長4年まで長期履修可

CT・MRI・重粒子線治療など高度化が進む医療機器に対応した
高度な知識・技術を持つ人材を育成

地域の保健医療水準の向上に寄与します。



学長 高田 邦昭

医療技術の高度化・専門化が進む一方で、県民の医療に対する需要も多様化が進んでいます。このような中で、本学は地域の医療福祉水準の一層の向上に寄与するため、平成21年に大学院(修士課程)を開設し、本年4月には第7期生が入学しています。

本学の大学院には、看護学研究科と診療放射線学研究科の二つの研究科があり、看護学・診療放射線学の理論・応用の教授・研究を通じて、高度な知識・技術を身につけます。看護学研究科では、医療機関等における院内教育や管理にあたる実践的指導者となる人材の育成を図ります。診療放射線学研究科では、CT・MRI・重粒子線治療など急速に高度化が進む医療機器に対応した高度な知識・技術を持つ人材など、画像診断や放射線治療を支えるリーダーとなる人材の育成を図ります。

本学の大学院は、医療の現場で活躍中の方々をはじめとして、社会人にも広く門戸が開かれています。職業を持つ方々のための社会人入試や、入学後も仕事を続けながら計画的に授業を受けられるよう、夜間開講、集中講義等の多様な授業方法を展開しています。

皆さんの入学を心よりお待ちしております。



社会人の積極的な受入れ

▶ 入学試験では、社会人特別選抜試験を実施します。

▶ 夜間にも授業を開講し、仕事を続けながら修学できるよう配慮します。

▶ 2年間相当の授業料のまま、修業年限を最大4年まで延長できる長期履修制度を設けています。

▶ 短期大学、専門学校、各種学校の卒業者に対しても入学試験の出願資格を付与※します。

※本学が行う審査により、大学卒業者と同等以上の学力があると認められた方が対象。

▶ 科目等履修生となり、入学前に単位を取得することもできます。



大学院での学びの時間は、
自分と向き合う貴重な時間。

撮影場所：前橋赤十字病院

看護学研究科 看護学専攻

Graduate School of Nursing, Department of Nursing

科学的根拠に基づく実践(Evidence-Based Practice)の実現を目的とし、より質の高い看護を提供するための教育・研究ができる人材及びスタッフ・ディベロップメント(SD)とファカルティ・ディベロップメント(FD)を支援できる人材の育成を目指します。



実践看護学構築論Iの授業風景

特色

看護学研究科は、我が国の看護系大学院で初めて、院内教育をコーディネートできる看護職者、つまりスタッフ・ディベロップメント(SD)を担える人材や、大学や専門学校など看護職養成機関の看護学教員のファカルティ・ディベロップメント(FD)を支援できる人材の養成を目指した「看護教育学領域」を設置している点が大きな特色です。

- 看護学研究科に実践看護学領域及び看護教育学領域を置きます。
- より質の高い看護を提供するための教育及び研究を展開します。
- 院内教育を企画し実践できる能力を養う教育及び研究を展開します。
- 看護学教員の教育能力を養うための教育及び研究を展開します。

教育研究領域と担当教員

研究科長 ● 齋藤 基

領域	教員名	主な研究課題
実践看護学領域	教授 肥後すみ子	看護技術学に関する研究課題
	教授 行田 智子	妊娠期・産褥期・育児期にある人とその家族への看護に関する研究課題
	教授 横山 京子	小児期にある人々への看護、小児看護学教育に関する研究課題
	教授 田村 文子	思春期・青年期にある人々、精神障害を持つ人々への看護に関する研究課題
	教授 中西 陽子	がん及び他疾患の急性期・慢性期・終末期にある成人期の人々とその家族への看護に関する研究課題
教授 齋藤 基	地域看護活動、在宅看護に関する研究課題	
教授 巴山 玉蓮	看護政策管理に関する研究課題	
看護教育学領域	教授 松田 安弘	看護基礎教育・継続教育に関する研究課題
	教授 山下 暢子	看護基礎教育・継続教育に関する研究課題
	教授 吉富美佐江	新人看護師教育、看護学実習中の教授活動に関する研究課題

Voice 在学生の声

志水 美枝 看護学研究科看護学専攻 実践看護学領域 (H25入学)

私は現在、前橋赤十字病院で看護師長として勤務をしながら、3年間の長期履修学生として大学院に通っています。夜間開講の授業を中心に履修できるため、通常の勤務を行いながら学ぶことができます。

私が大学院に進学した理由、1点目は、看護師長として2年が経過する頃それまでを振り返ってみた時に、師長としての私のもとで、スタッフは本当に生き生きと看護できているのだろうかと思ったこと。2点目は、大学を卒業し就職する看護師が多くなる中、師長としての管理や指導は適切に行えているだろうかと考えたからです。そのような時、本学大学院で看護政策管理学が学べることを知り、現場とは違った視点で学んでみたいといった思いが芽生え進学を決めました。

入学してからは、同じ大学院生として、様々な職場から経歴も年齢も異なる仲間と他愛もない雑談や授業でのディスカッ

ションを通して、多様な考え方に触れることができ、とても新鮮で刺激的な時間を過ごしています。また、先生方の指導により、自身のまとまらない思考や実践している意味と研究の関連について適切な助言を頂けることで、学びを整理統合し深めることができていることを実感しています。何より自分自身と向き合う貴重な時間になっています。

現在私は、「子育て期にある女性看護職員の職場定着意図に関連する要因」を研究テーマとして修士論文に取り組んでいます。そしてこの研究の成果を、是非現場に還元したいと考えています。

入学してから、本当に多くの貴重な時間を持つことができます。学びたいと思ったその時が、学ぶための最高のチャンスであると実感しています。

看護学研究科 授業科目

実践看護学領域

専門科目(必修)

3科目12単位を履修

実践看護学構築論Ⅰ [2単位]

実践看護学構築論Ⅱ [2単位]

看護学演習(実践看護学展開論) [8単位]

特別研究

特別研究 [12単位]

専門科目(選択)

共通科目と合わせ8単位を履修

看護教育学Ⅰ [2単位]

看護教育学Ⅱ [2単位]

看護学研究方法論Ⅰ [2単位]

看護学研究方法論Ⅱ [2単位]

看護政策管理論 [2単位]

看護教育学領域

専門科目(必修)

3科目12単位を履修

看護教育学Ⅰ [2単位]

看護教育学Ⅱ [2単位]

看護学演習(看護教育学研究) [8単位]

特別研究

特別研究 [12単位]

専門科目(選択)

共通科目と合わせ8単位を履修

実践看護学構築論Ⅰ [2単位]

実践看護学構築論Ⅱ [2単位]

看護学研究方法論Ⅰ [2単位]

看護学研究方法論Ⅱ [2単位]

看護政策管理論 [2単位]

修了要件

本研究科に2年以上在籍し、所定の単位(32単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び最終試験(口頭試問)に合格することが要件です。

履修方法

実践看護学領域又は看護教育学領域のいずれかを主専攻とし、主専攻に関連する専門科目3科目12単位と、特別研究12単位を必ず履修し、それ以外の8単位は専門科目(選択)又は*印の両研究科共通科目から選択履修します。この他、修了単位には加算されませんが、*印のない両研究科共通科目を自由科目として履修することができます。なお、年間の履修単位は24単位(集中講義及び特別研究は含めない)を上限とします。

両研究科共通科目(看護学研

- *専門職教育展開論Ⅰ [2単位]
- *専門職教育展開論Ⅱ [2単位]
- *研究と倫理 [2単位]
- *教育と倫理 [2単位]
- 保健医療特論 [2単位]
- 保健医療安全学特論 [2単位]

診療放射線学研究科 診療放射線学専攻

Graduate School of Radiological Technology, Department of Radiological Technology



放射線管理計測学特論の授業風景

特別研究を通じて、診療放射線学の発展に貢献しつつ高度医療専門職者、研究者及び教育者としての基礎的能力を持つ人材を育成します。

特色

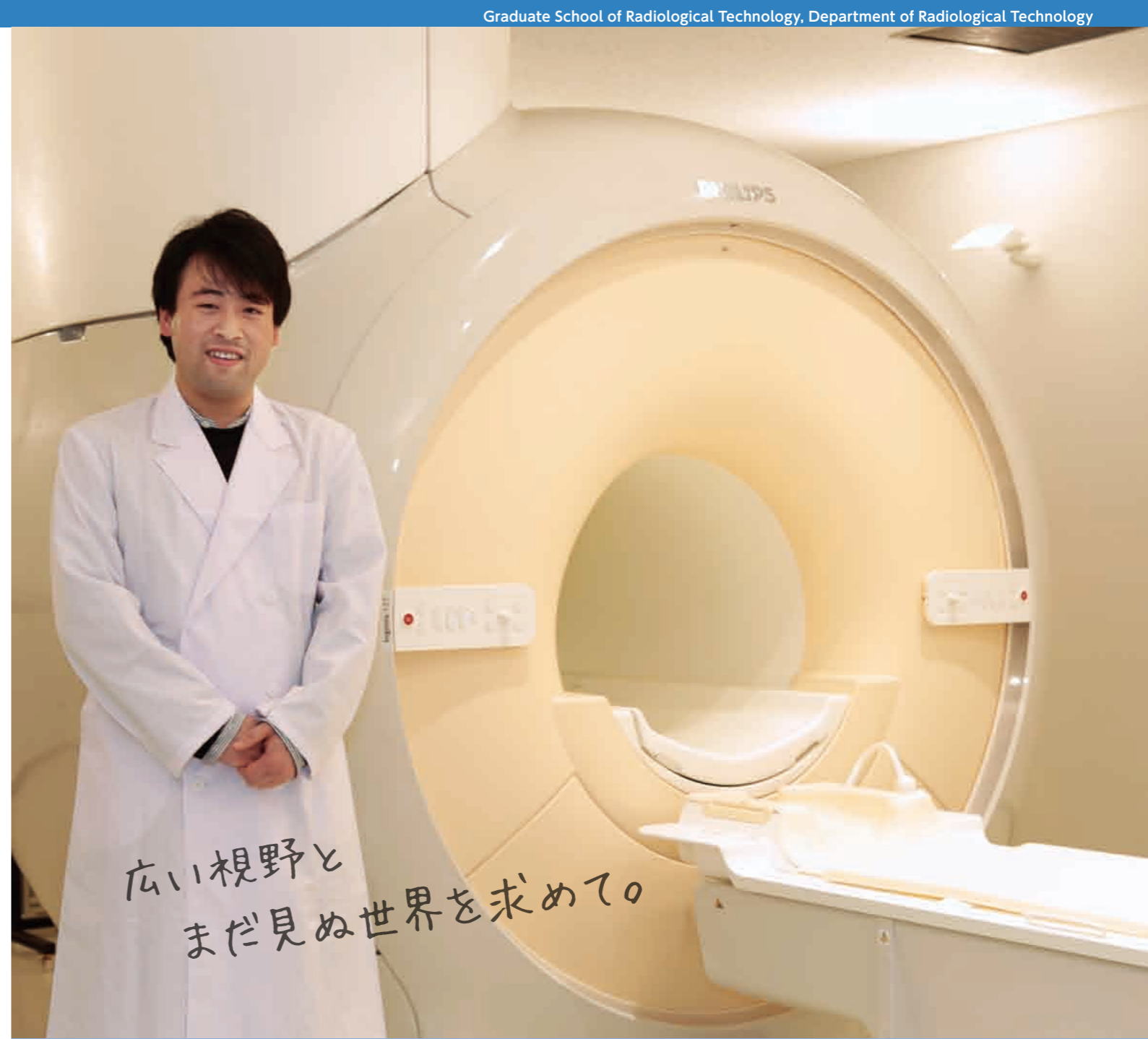
診療放射線学研究科は、我が国で唯一の「診療放射線学部」を基盤とし、放射線画像検査学、放射線治療学等の臨床に即した学術研究を積極的に行うことにより、人々の健康支援、疾病の早期発見、治療効果の向上に寄与する人材を育成するとともに、診療放射線学のさらなる発展に貢献します。

- 診療放射線学研究科に放射線画像検査学分野及び放射線治療学分野を置きます。
- 画像処理並びに画像解析技術の育成に重点を置いた教育及び研究を展開します。
- 画像評価並びに読影能力の育成に重点を置いた教育及び研究を展開します。
- 重粒子線治療プロジェクト等に参画可能な研究能力を養う教育及び研究を展開します。

教育研究領域と担当教員

研究科長 ● 柏倉 健一

分野	教員名	主な研究課題
放射線画像検査学	教授 上原 真澄	造影検査におけるマイクロデバイス開発に関する研究課題
	准教授 倉石 政彦	診療放射線技師職に関する研究課題
	教授 小倉 敏裕	診療放射線画像の解析に関する研究課題
	教授 小倉 明夫	磁気共鳴画像及びMRI検査に関する研究課題
	講師 林 則夫	画像診断検査法及び医用画像解析に関する研究課題
	教授 下瀬川正幸	医療画像情報学及び診療放射線学教育に関する研究課題
	准教授 星野 修平	放射線情報システム学に関する研究課題
	教授 柏倉 健一	脳機能測定に関する研究課題
	准教授 高橋 康幸	トレーサー情報解析に関する研究課題
	教授 青木 武生	物質輸送、水チャンネル、膜輸送に関する研究
放射線治療学	准教授 根岸 徹	放射線診断装置に関する研究課題
	准教授 堀 謙太	コンピュータシミュレーションによる診療放射線学の擬似体験型教育に関する研究課題
	教授 佐々木浩二	放射線治療技術学、放射線計測学に関する研究課題
	准教授 大野由美子	放射線物理学、放射線計測学に関する研究課題
	准教授 五十嵐 博	診療放射線部門におけるリスクマネジメントに関する研究課題
	准教授 杉野 雅人	環境放射線(能)計測および管理・防護に関する研究課題



広い視野と
まだ見ぬ世界を求めて。

Voice 在学生の声

佐藤 充 診療放射線学研究科診療放射線学専攻 放射線画像検査学分野 (H26入学)

私が大学院へ進学したいと考えるようになったのは先輩が国際学会で発表したということがきっかけです。当時、私の中では海外へ出て発表をするということは未知であり、憧れるとともにいつか私もこんな風になりたいと思いました。

しかし、いざ進路の選択を迫られたときには非常に悩みました。周りが就職活動を始める中で、本当に自分は大学院へ行くのが正しいのか。そして、大学院でやっていけるかという不安から最後の最後までなかなか決断することができませんでした。

そんな時、指導教員の勧めと大学院へ進むことの意義を聞いたことで私の心は大きく動かされました。「医療技術は凄まじい速度で進化していき、自分たちも診療放射線技師として、その速度についていく必要がある。そうすることで、最良の医療を提供する礎を作り、世界の最先端を目指すことが私

たちの使命である。」ということ聞き、大学院へ進むことを決意しました。

大学院へ進学してからは、誰もが思いつかなかったようなシステムの開発や最新技術を応用した研究などをすることができました。また、様々な学会へ参加することでこの放射線学という世界に広がる多種多様な考え方を知ることができました。

私たちは一人の医療技術者として誇りを持ち、誰かの命を扱う仕事をするということを忘れてはなりません。私は、人の命を扱うという責任を、大学院に進学することで広い視野を獲得するとともに、新たな研究をすることで達成しようと考えました。進路を決めかねている皆様、大学院へ進学し、誰も見たことのない新たなものを生み出し、自分の考えたもので世界を動かそうと私達と一緒に努力してみませんか。

診療放射線学研究科 授業科目

放射線画像検査学分野

- 専門科目 6単位以上を履修
- 磁気共鳴学特論 [2単位]
 - 造影検査学特論 [2単位]
 - 放射線画像技術学特論 [2単位]
 - 放射線画像解析学特論I [2単位]
 - 放射線画像解析学特論II [2単位]
 - 機能画像学特論 [2単位]
 - 核医学検査技術学特論 [2単位]
 - 医療画像情報学特論 [2単位]
 - 特別研究
診療放射線学特別研究 [12単位]

放射線治療学分野

- 専門科目 6単位以上を履修
- 放射線治療学特論 [2単位]
 - 先端放射線治療学特論 [2単位]
 - 放射線生物学特論 [2単位]
 - 放射線管理計測学特論 [2単位]
 - 放射線安全管理特論 [2単位]
 - 重粒子治療技術学演習 [2単位]
 - 特別研究
診療放射線学特別研究 [12単位]

修了要件

本研究科に2年以上在籍し、所定の単位(30単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び最終試験(口頭試問)に合格することが要件です。

履修方法

放射線画像検査学分野又は放射線治療学分野のいずれかに所属し、所属分野の専門科目から6単位以上と、特別研究12単位を必ず履修し、残りの12単位は他の専門科目(所属分野以外の専門科目を含む)又は両研究科共通科目から選択履修します。なお、年間の履修単位は24単位(集中講義及び特別研究は含めない)を上限とします。

研究科・診療放射線学研究科

- 診療放射線学特論 [2単位]
- 放射線医療統計解析学 [2単位]
- 放射線画像解剖学特論 [2単位]
- 画像診断学特論I [2単位]
- 画像診断学特論II [2単位]
- 放射線学シミュレータ特論 [2単位]

■ 大学院学生募集要項(願書含む)の請求方法

テレメール(インターネット・自動音声応答電話)でご請求ください。

① パソコン・スマホ・ケータイ、電話でアクセスしてください



パソコン・スマホ・ケータイなら
<http://telemail.jp>



バーコード



自動音声応答電話なら

IP電話 **050-8601-0101** (24時間受付)

② 大学院学生募集要項の資料請求番号を入力してください

資料名	資料請求番号	料金(送料含む)	発送開始日
大学院学生募集要項(願書含む)	589480	215円	5月20日

※料金はお届けする資料に同封されている支払方法に従い、表示料金をお支払いください。(支払いに際して手数料が別途必要となります。) 料金は資料の重量変更により変更になる場合がありますので予めご了承ください。

③ ガイダンスに従ってお届け先等の登録を行ってください

テレメールのパスワードをお持ちの方は不要です。

請求してから2~3日後に資料が届きます

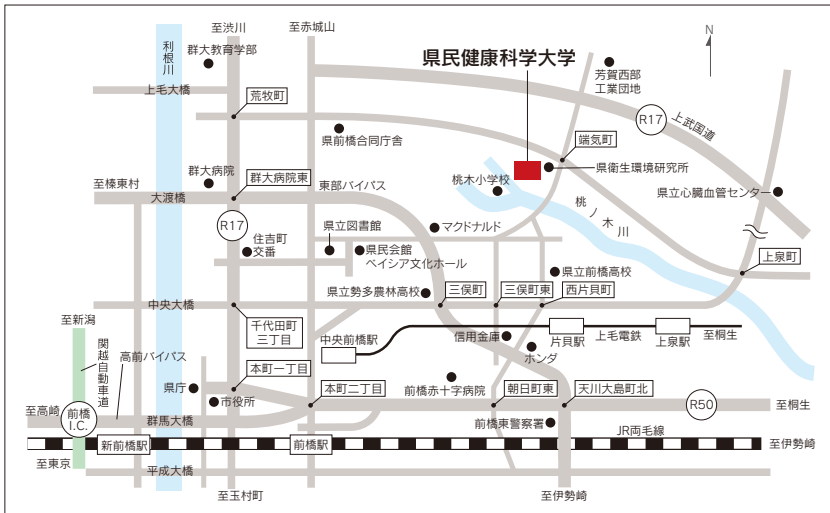
※発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日から2~3日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては4日以上かかる場合もあります。

テレメールでの資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問い合わせ・お申し出先

テレメールカスタマーセンター IP電話 **050-8601-0102** (受付時間 9:00~18:00) まで

次の各窓口でも請求できます。

県民健康科学大学事務局・群馬県庁2F県民センター・群馬県行政県税事務所
群馬県(保健)福祉事務所



access

[公共交通機関]

- JR「前橋駅」北口6番乗り場、永井バス小坂子、または荻窪公園行き「県民健康科学大学前」下車
- 上毛電鉄「片貝駅」から徒歩約15分

[自動車]

- 関越自動車道前橋I.C.から約20分

 **群馬県立県民健康科学大学大学院**
Gunma Prefectural Graduate School of Health Sciences

〒371-0052 前橋市上沖町323-1 Tel.027-235-1211(代表) Fax.027-235-2501

URL <http://www.gchs.ac.jp> E-mail: info@gchs.ac.jp

■ 平成 28 年度 群馬県立県民健康科学大学大学院入学者選抜方法の概要

看護学研究科看護学専攻(修士課程)／診療放射線学研究科診療放射線学専攻(修士課程)

選抜区分	一般選抜	社会人特別選抜
募集人員	看護学研究科看護学専攻…8名 診療放射線学研究科診療放射線学専攻…3名	看護学研究科看護学専攻…若干名 診療放射線学研究科 診療放射線学専攻…若干名
出願資格	次の①から④までのいずれかに該当する者 両研究科共通 ①学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者 又は平成 28 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者 ②学校教育法第 102 条第 2 項に該当する者であつて、本学において所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの ③学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 1 号から第 6 号までのいずれかに該当し大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 看護学研究科 ④看護系の短期大学、専修学校、各種学校等を卒業・修了し、本学において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 28 年 3 月 31 日までに満 22 歳に達するもの 診療放射線学研究科 ④本学において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 28 年 3 月 31 日までに満 22 歳に達するもの	看護学研究科 保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において専門的な実務経験を有し、常勤で在職している者で、かつ、看護学研究科一般選抜試験出願資格①から④までのいずれかに該当するもの 診療放射線学研究科 保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業等において、入学時まで 3 年以上の専門的な実務経験を有し、入学後もその身分を継続する者で、かつ、次の①又は②のいずれかに該当するもの ①診療放射線学研究科一般選抜試験出願資格①から③までのいずれかに該当する者 ②本学において、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 28 年 3 月 31 日までに満 25 歳に達するもの
出願前面談期間	随時(指導を受けようとする教員と出願前に面談が必要。但し出願資格認定審査が必要な場合は出願資格審査に間に合うように面談をしてください。)	
出願資格認定審査期間	平成 27 年 7 月 17 日(金)～7 月 29 日(水) (「個別の入学資格審査」により出願を希望する者)	
出願期間	平成 27 年 8 月 7 日(金)～8 月 20 日(木) (郵送による出願。8 月 20 日付消印有効)	
入学試験	試験期日 平成 27 年 9 月 5 日(土) 試験会場 群馬県立県民健康科学大学(〒371-0052 前橋市上沖町 323 番地の 1)	
	選抜方法	看護学研究科 (一般選抜・社会人特別選抜とも) 「専門科目」 「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) 「小論文」 「面接」 書類審査
	診療放射線学研究科	「専門科目」 「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) 「小論文」 「面接」 書類審査
合格発表日	平成 27 年 9 月 14 日(月)	
入学手続期間	平成 27 年 9 月 29 日(火)～10 月 5 日(月) (郵送。10 月 5 日必着)	
入学試験料	30,000 円	
授業料等 (平成 27 年 4 月 1 日現在)	入学科 141,000 円 (県内者) 282,000 円 (県外者) 授業料 535,800 円 (年間)	

上記日程による入学者選抜の結果、入学手続者数が募集人員に達しなかった場合は、以下のとおり 2 次募集を行います。2 次募集の有無については、平成 27 年 10 月 6 日(火)以降に本学ホームページ上で公表します。

【2 次募集】

選抜区分	一般選抜 / 社会人特別選抜
出願資格・選抜方法等	出願資格、選抜方法及び試験会場は初回の募集と同様です。
出願前面談期間	随時(指導を受けようとする教員と出願前に面談が必要)
出願資格認定審査期間	平成 27 年 12 月 18 日(金)～平成 28 年 1 月 5 日(火) (「個別の入学資格審査」により出願を希望する者)
出願期間	平成 28 年 1 月 15 日(金)～1 月 28 日(木) (郵送による出願。1 月 28 日付消印有効)
試験期日	平成 28 年 2 月 13 日(土)
合格発表日	平成 28 年 2 月 19 日(金)
入学手続期間	平成 28 年 2 月 29 日(月)～3 月 4 日(金) (郵送。3 月 4 日必着)

科目等履修生の募集

■ 平成27年度科目等履修生の募集概要

内容	本学大学院の授業科目を履修し、正規の単位を修得する制度です。科目等履修生として修得した単位は、本学大学院に入学した際には既修得単位として活用することができます。
募集	看護学研究科 若干名 診療放射線学研究科 若干名
履修科目	開講科目の詳細はお問い合わせください。 1年間に10単位を限度とします。
授業料	1単位当たり14,800円
入学料・その他費用	なし。ただし、指定された教材等がある場合、購入費用は自己負担となります。
出願資格	4年制大学の保健医療系大学卒業またはそれと同程度の学力を有するもの。
出願期間	前期：募集を終了しました。 後期：8月10日(月)～8月21日(金)午後5時必着 出願の際は必ず事前にご相談ください。
選考方法	書類審査のほか、担当教員による面接を行う場合があります。

群馬県立県民健康科学大学 大学院
Gunma Prefectural Graduate School of Health Sciences

〒371-0052 前橋市上沖町323-1 Tel.027-235-1211(代表) Fax.027-235-2501
URL <http://www.gchs.ac.jp> E-mail: info@gchs.ac.jp